

24V用間欠ワイパーキット取付説明書(Ver3.0)

100329

この度は、24V用間欠ワイパーキットをご購入いただき、有難うございました。取付前に本説明書を熟読いただき、正しく取り付けて下さい。

取り付けはすべて自己責任でお願いします。当方はいかなる場合も一切責を負いません。車両に接続する前に必ず右面の検査方法の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。

基本キット製品構成

・コントローラー(緑4) 1個 ・ヒューズ付き専用ハーネス 1セット ・24V日本製パワーリレー 1個

配線方法

| ケーブル線色 | 説明と主な接続先 |
|--------|--|
| 黒 | ボディアースへ接続。 |
| 赤 | 20A以上可能な常時電源の+へ。 |
| 青 | 接続しない。 |
| 緑 | ワイパーモーターの低速線用24Vパワーリレーのコイルへ接続。 |
| 紫 | 赤線へ接続。 |
| 青/白 | 接続しない。 |
| 緑/白 | 接続しない。 |
| 紫/白 | 接続しない。 |
| 茶 | 間欠時間設定ボリュームの黄線(接続しない場合、間欠時間は固定。) |
| 灰 | ボリュームをつけない場合、本キットのオン・オフプッシュスイッチの片方へ接続。 |
| 黄 | ACCへ接続。(接続した場合、停止時の間欠時間は設定時間の倍になります。) |
| 注意事項 | 接続しないコードは、必ずテープ等で絶縁してください。 |

：接続しなくても可

基板内ジャンパー設定について。(ジャンパー設定をするときは、基板の回路をショートしないようにしてください)

JP1: ボリュームを付けない場合、ジャンパーターミナル(黒い樹脂)を付けると間欠時間が5秒、外すと10秒になります。

ボリュームを付けた場合、ジャンパーターミナルを付けると間欠時間が2秒から20秒まで、外すと間欠時間が2秒から30秒までに設定できます。

JP2: ジャンパーターミナルを付けると車速信号を無視、外すと車速をモニターし、停止時の間欠時間は設定時間の倍になります。(車速信号を接続した場合にのみ有効。)

JP3: ジャンパーターミナルを付けるとACCオフ ACCオンでボリュームの状態に応じて間欠ワイパーが動作します。外すとACCオフ ACCオンでボリュームがどの位置にあっても間欠ワイパーはオフになります。(間欠ワイパースイッチ切り忘れ機能有効)再び間欠ワイパーを動作させる場合は、ボリュームを一度、オフにしてから時間設定します。ただし、ACCオフの時間が約1時間以内であれば、ボリュームの状態に応じて間欠ワイパーが動作します。(ボリュームを接続したときのみ有効)

設定は、カブラーを挿す前に行ってください。動作中(コネクタが挿さった状態)は設定変更できません。

操作方法1 (ボリュームを接続した場合)

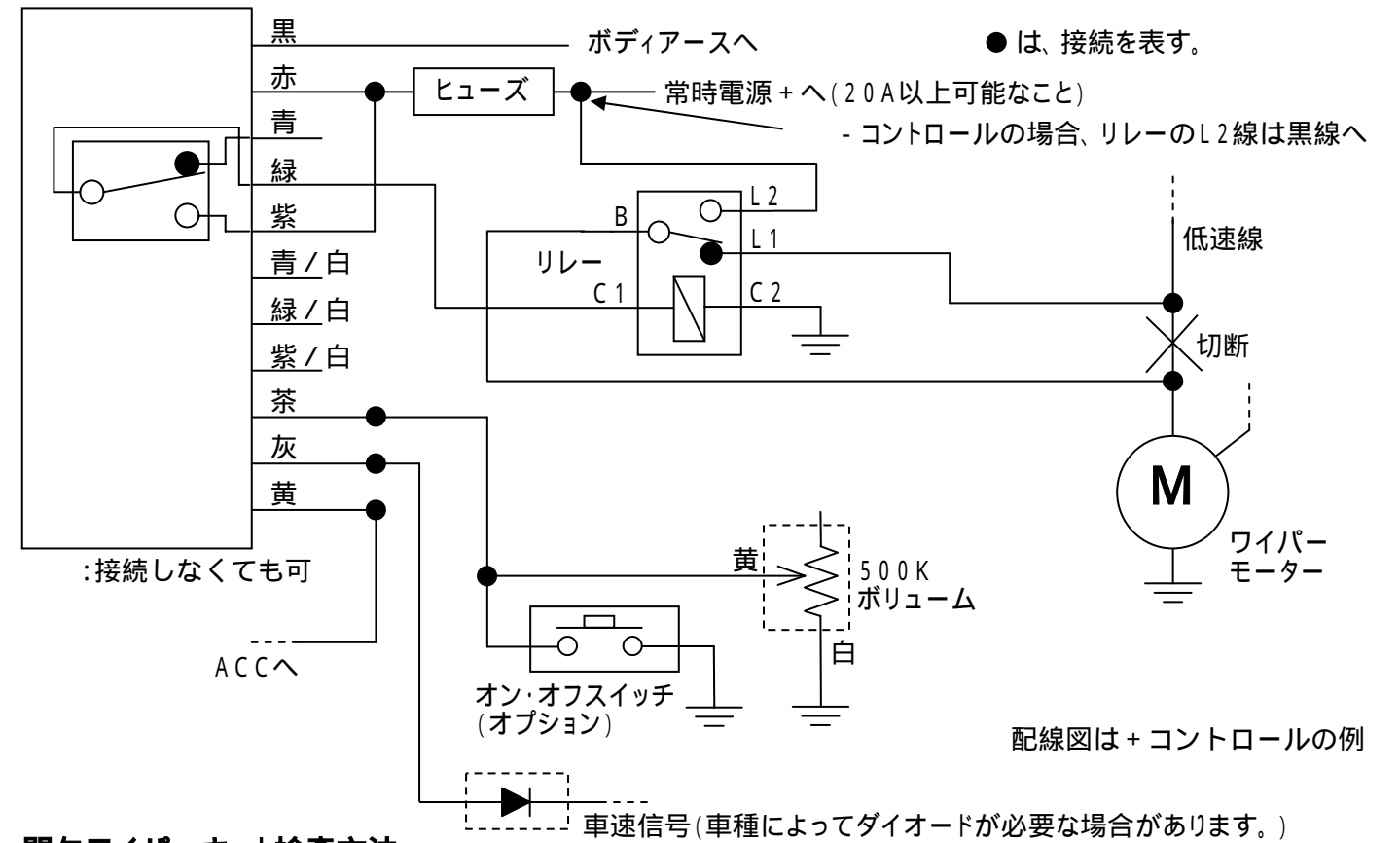
- ACCをオンにし、純正ワイパースイッチをオフにし、ボリュームを適度に右に回すとワイパーが間欠動作します。時間は、2秒から20秒または2秒から30秒に設定できます。(JP1で設定)
- 間欠ワイパーをオフにするときは、ボリュームを左一杯に回します。
- 車速信号を接続している場合、車両が停止中は、間欠時間は設定時間の倍になります。(JP2の設定による)

操作方法2 (ボリュームを接続しない場合。この場合必ずオン・オフプッシュスイッチを付ける必要があります。)

- ACCをオンにし、純正ワイパースイッチをオフにし、オン・オフプッシュスイッチを押すとワイパーが間欠動作します。時間は、5秒または10秒に設定できます。(JP1で設定)
- 間欠ワイパーをオフにするときは、もう一度オン・オフプッシュスイッチを押します。ACCをオフにしても間欠ワイパーは、JP3の設定に関係なく自動的にオフになります。
- 車速信号を接続している場合、車両が停止中は、間欠時間は設定時間の倍になります。(JP2の設定による)

基本結線図

配線するときは必ず11ピンのコネクタを抜いて作業してください。



間欠ワイパーキット検査方法

車両に接続する前に必ず以下の検査を行って、配線が正しいか確かめてください。

配線完了後、コントローラーを接続する前に必ず以下の手順で配線を確認してください。

この配線検査を行わずにコネクタを挿すと、コントローラーが破損したり車両が壊れます。

必ず1番から3番まで、順番に飛ばさずに確認してください。途中、正常でない場合は、次に進まずに配線を直してから次に進んでください。

手順以外の差は破損の元になりますので、絶対にしないように注意してください。

| 順序 | 検査方法 | 車両等の動作 | 異常の場合の不良原因 |
|----|--|---------------------|----------------------------|
| 1 | イグニッションキーをワイパーが動作する位置まで回し、検査ピンの1本を紫と緑線に差し込む。(ヒューズが飛ぶ場合は車両の切断不良。) | リレーが動作し、ワイパーが動作し続ける | 赤、黒、紫、緑線、またはリレー関係の結線不良 |
| 2 | 1の状態のまま、ワイパーが往復の動作の半分まで動作した時、検査ピンを抜く。 | ワイパーが定位置まで動作し停止 | リレーのL1の結線不良。 |
| 3 | コントローラーを接続し、ボリュームを回す。 | 間欠ワイパー動作 | 黄または黒線の結線不良またはコントローラーの初期不良 |

検査ピン

検査ピンは、書類を留める金属のクリップを1本御用意いただき、伸ばしてV字に曲げて製作してください。

